

熊本県警察交番・駐在所機能強化推進基本プラン



1 はじめに

熊本県内におけるここ数年の治安情勢は、刑法犯認知件数や交通事故発生件数が減少傾向にあるなど、指数的な治安は改善されつつあります。

その一方で、高齢者等をねらう悪質で卑劣極まりない振り込め詐欺の被害が急増したほか、子供や女性に対する声かけ・わいせつ事案や飲酒運転による事故が依然として後を絶たず、県民の皆さまが肌で感じる「体感治安」が向上しているとまでは言い難い状況にあります。

このため、県警では、『安全・安心くまもと』実現計画」を策定し、自治体やボランティア団体など地域社会と連携・協働した各種取組みを進めているところですが、地域コミュニティの活動単位である小学校区や自治会の活動区域（以下「小学校区等」といいます。）と交番・駐在所が受け持つ区域（以下「受持区」といいます。）とが一致していない状況があったり、また、いわゆる平成の大合併により行政区域が大幅に変わる一方で、少子化の進展により小中学校の統廃合が進むなど、交番・駐在所の配置および受持区の在り方を見直す必要性が高まっています。

こうしたことから、この度、県警では、交番・駐在所の機能強化を図るための「熊本県警察交番・駐在所機能強化推進基本プラン」を策定しました。